

料理で国際交流「メキシコとマレーシア料理」を実施しました

1月20日(月)、能見台地区センターで、後藤ロシオさん(メキシコ)とチャム・ジェットインさん(マレーシア)を講師に迎え、メキシコ料理とマレーシア料理の講習会が開かれました。メキシコ料理は、アルボンディガス(メキシコの肉だんご)とパンの上に乗せて食べるバカラオでした。マレーシア料理は、刀切麺とデザートのかつまいものスープでした。

参加者は地域の人、市大生、外国人、ラウンジ会員、区役所関係者等、総勢23名でした。講師の説明の後、和気あいあいとした雰囲気の中で、互いに教え合い、協力し合いながら料理を作りました。出来上がった料理を堪能した後は、交流会を行い、料理作りの反省、感想を述べ合い、外国人の参加者からは自国の料理の紹介もありました。料理を通して、楽しい、多文化交流の一時を持つことができました。



参加者アンケートより

- 和やかな親しみやすい雰囲気だった。
- 料理の実演、説明がわかりやすかった。
- 味に違和感がなく、食べやすかった。おいしかった。
- 地域の人、外国の方とも交流できてよかった。多文化を知ることができた。

平成25年度「日本語スピーチ発表会」予定

日本語部と子ども学習支援部、両部の日本語教室では、「日ごろの学習の成果を発表すること」を目的とした「日本語スピーチ発表会」を各曜日の教室ごとに開催します。

**日時： 3月1日(土) 3月2日(日)
3月4日(火) 3月6日(木)
午前10時～12時**
(3月1日および3月2日は日本語部と子ども学習支援部共催で実施)

場所： 金沢国際交流ラウンジ 交流室 I
交流会： スピーチ終了後 発表者と聞きに来て下さった方たちとの交流会があります。

「いろいろな国のことばでおはなし会」 金沢図書館主催 金沢国際交流ラウンジ協力

平成25年11月10日(日)金沢図書館主催「いろいろな国のことばでおはなし会」が金沢地区センターで開催されました。金沢国際交流ラウンジ日本語教室で学ぶ学習者が絵本の読み聞かせの読み手として協力しました。かもめ教室に通う中学3年生のドーニュー・クイーンさん(ベトナム語)、日本語教室に通う城間武徳さん(スペイン語)、黄美雪さん(中国語)の3名が出席しました。

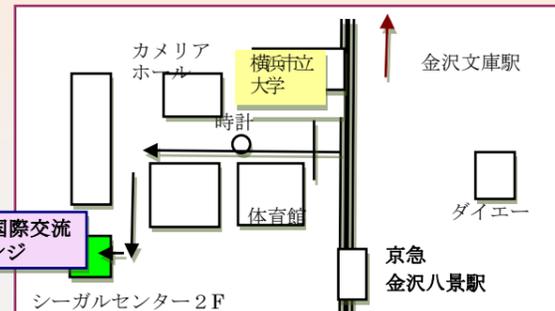
おはなし会への参加者は41名(子ども15名、大人26名)、絵本を見せながらの分かりやすい本の読み聞かせに子どもたちも静かに聞き入っていました。読み聞かせの合間に紹介した韓国や中国のじゃんけんを見て、日本との違いが分かり、文化の比較を企画に取り入れるのもよいと思いました。



★ラウンジ窓口のご案内★

《開館時間》日・火・水・木・金・土 9:00～17:30
月、祝日、市立大学指定休 は休館

〒236-0027「横浜市金沢区瀬戸 22-2」
横浜市立大学内 シーガルセンター2階



☎ 045-786-0531 Fax 045-786-0532

▶他言語で相談に応じます。

毎週火曜日 13:30～17:00 スペイン語
Los Martes por la tarde(13:30～17:00)
Consultas en Español
毎週水曜日 9:00～13:00 中国語
毎星期三 9:00～13:00 中国語



▶【日本語教室】

場所：金沢国際交流ラウンジ
日曜日 火曜日 木曜日 土曜日 10:00～11:30

▶【かもめ教室】

土曜日 日曜日 10:00-11:30 ラウンジ
火曜日 15:30-19:30 オフィスかなざわ
金曜日 15:00-16:30 並木北コミュニティハウス
かもめ教室 ☎045-786-0534

金沢国際交流ラウンジニュース

No. 30
2014年1月30日発行

KANAZAWA
INTERNATIONAL
LOUNGE

発行 金沢国際交流ラウンジボランティア会
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2 横浜市立大学シーガルセンター2F
TEL:045-786-0531・0534 / FAX:045-786-0532
URL <http://www.kanazawalounge.org/>

金沢ラウンジフェスティバル 3月16日開催予定

地域に住む外国人、日本人との交流を共に楽しむ場として、日本語によるスピーチ大会、地域団体による演技、紹介などを行います。またこのフェスティバルを通して私たちラウンジの活動を広く地域の皆さまに紹介させていただきます。会場の皆さまとともに、一日を楽しく過ごせるよう実行側も取り組みに力を注いでいきます。



手をつなごう
かなざわ

- 午前 10時～11時25分
- ・オープニング 金沢総合高校 ブラスバンド部演奏
 - ・ラウンジ紹介
 - ・外国人による日本語スピーチ(成人の部)
テーマ『横浜に暮らして』
 - ・ハンドベル演奏
 - ・こどもの部(かもめ教室より)

午後 1時～3時30分
ステージ発表
世界の挨拶ことば

日本 和太鼓演奏(関が谷)
インドネシア バリダンス
ペルー 踊り
市大生 音楽サークル
タイ ダンス
大道中学校 バトン部
フィリピン 花の舞 舞踊

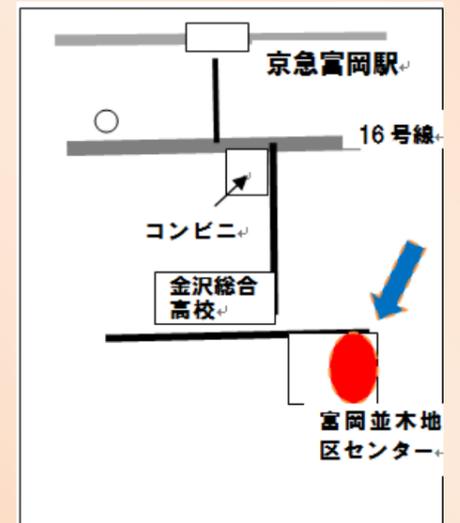


昼食：世界の料理を販売します！

ペルー アヒデガジーナ・プディング
ネパール タンドリーチキン・シークカバブ
韓国 チジミ
中国 中国ぎょうざ・上海風やきそば



開催日時 平成26年3月16日 日曜日
午前10時～午後3時30分
場所 富岡並木地区センター 体育室
主催 金沢国際交流ラウンジボランティア会



25年度事業：「異文化理解を通して、多文化共生社会作り」を目指す。

「ハンガリーとアルバニア 両国の異文化を知り、交流を深める」実施報告

実施日：平成25年12月8日(日) 13:30~16:30

：第1部 ゲストスピーカーによる母国紹介 ・ 第2部 交流会

会場：横浜市立大学八景キャンパス内「いちょうの館」

ゲストスピーカー

：ハンガリー大使館員(キシュ ゲルゲイ氏)・アルバニア大使子息(ディダ ベサリ氏)

他ゲスト：アルバニア大使夫妻

参加人数：総数 59名(ゲスト2名・一般38名・会員19名)

ハンガリー大使館員

キシュゲルゲイ氏

アルバニア大使子息

ディダ・ベサリ氏

第2部：交流会の様子



アルバニア大使夫妻・ゲストスピーカーを囲んでの記念撮影



◆スピーチを聞いて驚いた事 (日本語スピーチの上手さは1民族の日本とはちがう言語環境にある)

①お二人とも、日本語が日本人と同じように上手に話せること・・・両国とも幼少時から「ドイツ語・英語・母国語」の3言語を話すのが普通である。特に、アルバニアの36文字は世界のどの国にも通じる発音を持っている言語であること。

②「ドナウ川」の日本語表記について・・・キシュゲルゲイ氏の答え「多^{たのう}悩」、ドナウ川は、多くの民族の争いと苦悩の歴史を見つめてきた。知識と日本語力の深さを実感し、参加者を驚かせた。

◆参加者からの意見

- ①日本にとって馴染みの薄い両国を選んだことは異文化を理解する上で適切だった。
- ②スピーチと動画による母国の紹介は解り易く、非常に興味を持てた。
- ③アルバニア大使夫妻から日本に対する思いを聞いたのは、滅多にない機会に参加してよかった。



参加者：29名
(内、外国人19名)



外国人のための
「日本の学校教育制度と
公立高校入試について」
を実施しました

10月26日、日本で暮らす外国人へME-Net 所属、高校教諭の島本篤氏がわかりやすく説明しました。

- ・学校の制度、高校へ行く目的
- ・日本で暮らすための教育が必要
- ・高校選びのときのポイント



参加した外国人より
・学校で配られる資料はわからなかったので今日説明がありよくわかった(中学生の母)
・高校の種類や費用のことがわかった(小学生の母)
・高校を選ぶことに迷っていたが今日先生に相談ができよかった(中学3年生)



生徒と保護者が参加



高校選びの個別相談

参加外国人国籍 ペルー、ベトナム、
バングラディッシュ、フィリピン

研修会実施

情報広報部主催 講演会

やさしい日本語の工夫と実践

11月30日県立言語アカデミアの坂内先生より、一般的な日本語の文章をわかりやすく伝えるためには短文で、あいまいな語尾を使わないなどの基本講義の後、グループで(地域のおしらせ)をわかりやすい日本語に書き換えるワークをしました。また、ホームページ、ちらしの題材も取り上げ、だれが読むのかを意識して文を書くことが大事だと学びました。アンケートより「今後、外国人と接するときに役立つ」「グループワークではいろいろな考えを聞けて自分のためになった」などがあり、有意義な研修でした。受講者19名



グループワーク

日本語部主催 <地域公開講座>

「外国人とのコミュニケーション ~はじめの一步~」

12月11日(水)いきいきセンター金沢において、地域公開講座「外国人とのコミュニケーション~はじめの一步~」が開催されました。受講者は、日本語部員21名、外国人9名、一般9名、合計39名でした。講師に横浜国立大学非常勤講師 矢部まゆみ先生を迎え、講座は終始和やかな雰囲気の中で進められました。ゲームやグループワークを楽しみながら、自然に皆が打ちとけ、外国人の受講者も、積極的に日本語で話すようになって行きました。



受講者の感想

- 外国人 ▶ゲームやグループワークが楽しかった。
▶日本人と日本語で話しができてよかった。
▶日本語での説明がわかりやすかった。
- 日本人 ▶楽しく学ぶことができた。
▶ゲームが日本語学習に有効な手段であることを実感し